

## あとがき

東京医科大学雑誌が本号から一新された。版は一回り大きな国際サイズのA4となり、表紙の色も大学のシンボルカラーに一変した。紙質の向上、精彩なカラー図版の印刷等、医学情報の発信媒体としての水準が上がったと感じたのは、私だけではないだろう。しかも従来より経費の削減が出来ている。

しかし何より大きな変更は、名称がTokyo Medical Universityに変わったことである。英米では大学院(graduate school)のある大学は通常universityと呼ばれている。大学院を有する東京医科大学がuniversityと呼ばれて些かも悪いわけではない。

巻頭言で渋谷学長が述べられているように21世紀の

医学教育・研究に於いては、学術情報の受信や発信に關しての個々の研究者の心構えや研究組織のシステムの在り方が、益々重要になってくると思われる。その中で東京医科大学雑誌の新たな役割も益々大きくなり、雑誌の新たな展開は21世紀の医科大学創造のひとつの契機となって行くことだろう。

本学がTokyo Medical Universityとなった今、universityとは多様な学問分野を統合(unify)する過程で教育・研究を行う機関であって、単なるmultiversityではないことを銘記し、大学人として一層身を引き締めて行かねばならないと思う今日である。

(松宮輝彦 記)

## 幹事会(要旨)(平成9年11月)

1. 第142回医学会総会は平成10年11月7日(土)に開催し、シンポジウムを行なう。

当番教室：脳神経外科学教室、微生物学教室

2. 編集状況の報告ならびに編集について討議した。

3. 臨床懇話会の報告があった。

開催報告

第274回 10月28日 整形外科学

開催予定

第275回 11月27日 皮膚科学

第276回 12月9日 内科学(3)

4. 次期評議員及び幹事会メンバーの選出報告があった。

5. 東京医科大学雑誌のサイズをA4判にし、表紙のデザインを新しく変更することについて議案が提出され原案通り承認された。

## 編集委員会

渋谷 健(会長)  
伊東 洋(副会長)  
小柳 泰久( )  
高山 雅臣(庶務幹事)  
松宮 輝彦( )  
内野 善生(編集幹事)  
下光 輝一( )  
星加 明德(会計幹事)  
石丸 新( )  
加藤 治文(監事)  
友田 燦夫( )  
阿部 公彦(委員)  
今給 黎篤弘( )  
遠藤 任彦( )  
水口 純一郎( )  
一色 淳( )  
臼井 正彦( )  
斎藤 利彦( )  
鈴木 衛( )  
林 徹( )  
J. P. バロン( )  
松岡 健( )  
水野 文雄( )  
山田 仁三( )  
渡辺 克益( )

平成10年6月10日 印刷

平成10年6月20日 発行

東京医科大学雑誌 第56巻 第1号

発行者 渋谷 健

発行所 東京医科大学医学会  
(東京医科大学図書館内)

東京都新宿区新宿6-1-1

TEL (3351) 6141 (代)

FAX (3354) 3780

印刷所 大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町1-1-1

TEL (3266) 1111 (代)